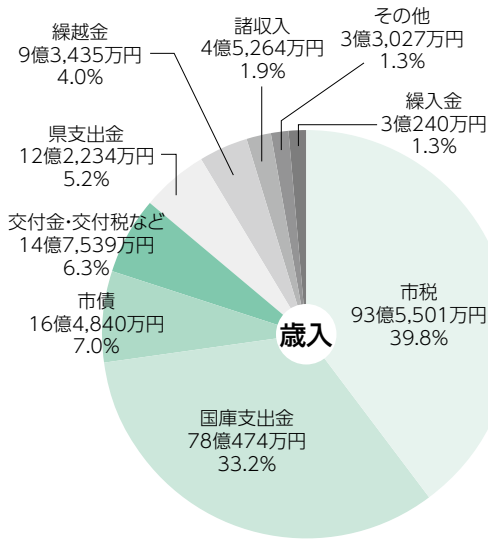


一般会計の歳入・歳出



歳入決算額

235億2,554万円

<主なもの>

- 国庫支出金
 - 特別定額給付金給付事業の国負担金 (49億5,394万円)
- 市債
 - 高浜小学校整備事業の借入金 (11億6,980万円)
- 県支出金
 - 保育料無償化の県負担金 (2億2,950万円)

■都市計画税の使い道

事業名	事業費	都市計画税からの充当金額
下水道事業	7億8,308万円	7億8,308万円
都市計画事業基金積立	1,987万円	1,987万円
計	8億295万円	8億295万円

■森林環境譲与税の使い道

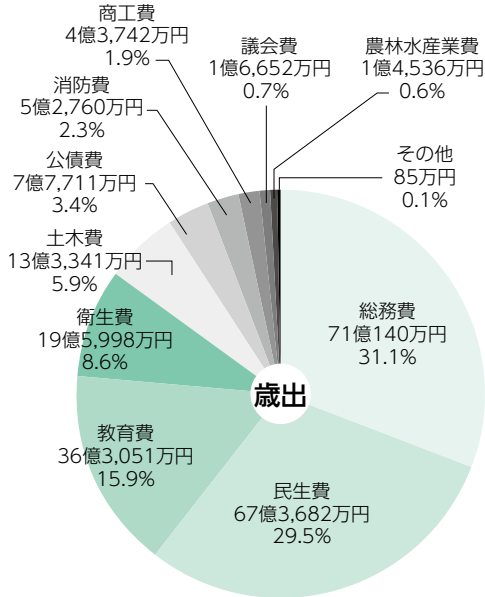
事業名	内容	事業費	うち環境譲与税
森林環境譲与税基金積立	令和5年度以降の学校改修事業に活用予定	371万円	371万円
計		371万円	371万円

歳出決算額

228億1,698万円

<主なもの>

- 総務費
 - 特別定額給付金給付事業 (49億5,394万円)
- 民生費
 - 保育園の管理運営費用 (13億3,338万円)
- 教育費
 - 小中学校維持管理費用 (6億647万円)
- 衛生費
 - ごみ処理関係費用 (6億9,650万円)



一般会計決算の状況

令和2年度一般会計の実質収支額(収入と支出の差額)はおよそ7億円で、引き続き、赤字となりました。これは、市税が見込みより多く入ったことや使うお金を抑えることができたことなどが要因です。

新型コロナウイルス感染症の影響により市税収入の先行きは不透明であり、依然として極めて厳しい状況にあります。

引き続き、事業の見直しを行うなど、限られた財源をより効果的・効率的に活用していくことで、健全な財政運営ができるよう努めていきます。

令和2年度

たかはまの決算

9月市議会定例会において、令和2年度の決算が認定されました。皆さんが納めた税金がどのように使われたのかをお知らせします。

決算総額

歳入

334億1,929万円

(前年比24.3%増)

歳出

327億5,297万円

(前年比26.1%増)

一般会計

歳入 235億2,554万円 (前年比37.7%増)

歳出 228億1,698万円 (前年比41.3%増)

特別会計

歳入 69億 570万円

<内訳>

国民健康保険事業	33億 707万円
土地取得費	5,742万円
公共駐車場事業	9,434万円
介護保険	28億9,576万円
後期高齢者医療	5億5,111万円

歳出 66億6,602万円

<内訳>

国民健康保険事業	32億4,750万円
土地取得費	634万円
公共駐車場事業	3,048万円
介護保険	28億3,776万円
後期高齢者医療	5億4,394万円

企業会計

収入 29億8,805万円

<内訳>

水道事業	9億3,021万円
下水道事業	20億5,784万円

支出 32億6,997万円

<内訳>

水道事業	11億3,644万円
下水道事業	21億3,353万円

～思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま～
第6次高浜市総合計画体系別重点事業

**I みんなで考え みんなで汗かき
 みんなのまちを創ろう**

- 議会にペーパーレス会議システムを導入しました。
 …………… (156万円)
- 高浜市の魅力を発信するなどのシティプロモーション支援を行いました。
 …………… (249万円)

**III 明日を生み出すエネルギー
 やる気を活かせるまちをつくらう**

- プレミアム商品券を発行し、市内事業者の経営早期回復を支援しました。
 …………… (6,802万円)
- 最新の被害想定にもとづき、防災マップを作成しました。
 …………… (935万円)

**IV いつも笑顔で健やかに
 つながり100倍ひろげよう**

- 特別定額給付金として、1人あたり10万円の給付を行いました。
 …………… (49億5,394万円)
- アウトリーチ支援員を配置し、社会的孤立状態にある方の支援を行いました。
 …………… (317万円)

**II 学び合い 力を合わせて
 豊かな未来を育もう**

- 高浜小学校等整備事業が完了しました。
 …………… (15億1,658万円)
- 児童扶養手当受給者などのひとり親世帯に対して、臨時給付金を給付しました。
 …………… (6,716万円)
- 民間の認定子ども園に運営費を給付しました。
 …………… (3億8,356万円)
- 市内小中学校の手洗い場の水栓を自動化し、感染症の広がりを抑えました。
 …………… (954万円)
- スクールソーシャルワーカーを教育委員会・学校などに配置し、教育相談体制を整備しました。
 …………… (241万円)
- 市内小中学校にタブレット端末などを導入し、教育のICT化を図りました。
 …………… (3億7,420万円)



**健全化判断比率
 資金不足比率**

令和2年度決算の健全化判断比率を示す4指標と公営企業の資金不足比率をお知らせします。これらの比率は、赤字額や借入金の額などをもとに自治体の財政の健全化度を数値として表したものです。いずれも数値が少ないほど、その自治体の財政は健全な状態にあります。

指標名	高浜市結果		早期健全化基準	財政再生基準	備考
実質赤字比率	— (赤字ではない)	健全	13.40%	20.00%	7億3,573万円の黒字です。
連結実質赤字比率	— (赤字ではない)	健全	18.40%	30.00%	21億7,898万円の黒字です。
実質公債費比率	-0.1%	健全	25.0%	35.0%	前年度は-0.4%でした。
将来負担比率	18.6%	健全	350.0%	—	前年度は0.7%でした。
資金不足比率 (水道・下水道)	— (資金不足なし)	健全	20.00%	—	資金不足はありません。

問合せ先 困財務グループ ☎52-1111(内線322)